

## 教員の多忙化解消対策について

平成30年7月「小樽市立学校における働き方改革 行動計画」を策定し、教員の負担軽減に向け、各学校が取り組んでいく項目をまとめた。

### 勤務時間縮減の取組

#### ◎本来担うべき業務に専念できる環境の整備～教材研究や児童生徒との面談等の時間確保

・外部人材の活用

①部活動指導員（国、道の補助金 各1/3）～今年度から6人配置

～休日の大会引率を部活動指導員に任せるなど、教員の負担がかなり減ったとの声  
→来年度はさらに充実させていきたい。

※週6時間程度、年間35週、時給1,600円、1人当たり336,000円/年 年間事業費2,016,000円（うち道補助金1,344,000円）
---

②スクール・サポート・スタッフ（道費）～手宮中央小（H30～）、北陵中（H31～）に試験的に配置し、教員の学級における事務的業務（プリント印刷、採点業務など）を補助。

③スクールソーシャルワーカー（道費）～児童生徒の問題に対し、保護者や教員と協力しながら問題の解決を図る専門職。教育研究所に配置。

④スクールカウンセラー（道費）、（市費）～困り感のある児童生徒、保護者への相談対応。

#### ◎部活動に係る負担の軽減

- ・部活動休養日の設定～毎週平日は1日以上。毎週土日祝日は1日以上。学校閉庁日。
- ・部活動の時間の制限～平日2時間程度。土日祝日、長期休業日は原則3時間程度。

#### ◎勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実

- ・長期休業中における「学校閉庁日の設定」
  - ①8月15日前後の土日祝日以外の3日間を土日祝日と連続させる。
  - ②12月29日から1月3日
- ・勤務時間の把握～平成30年7月から順次、各学校でICカードを利用した記録を開始。

#### ◎教育委員会による学校サポート体制の充実

- ・学校対象の調査事務軽減～市教委からの調査の簡素化、調査項目の重複排除など精選。
- ・ICT機器の配備～実物投影機や大型テレビの活用による、授業準備時間の縮減。
- ・校務支援システムの導入検討～指導要録、時間割、通知表等の作成に要する時間を短縮  
→道のモデル実践事業の結果、学級担任平均で年間116.9時間の削減効果